



四日市市立
港中学校だより

青葉旬う

令和7年9月26日
No.5 発行:校長

全国学力・学習状況調査の結果からみる本校(3年生)の傾向

全国学力・学習状況調査は文部科学省が行っている調査で、毎年、全国の小学6年生と中学3年生を対象に実施されます。今年度は4月に国語と数学、理科の学力調査が行われました。また、同時に「生徒質問紙」による生活や学習状況の調査も行われました。その結果をもとに、本校3年生の傾向を説明します

1 各教科の傾向と強みと弱みについて

【国語】

本校の平均正答率は、全国、三重県を大きく上回りました。

学習指導要領の内容別にみると、「言葉の特徴や使い方に関する事項」や「話すこと・聞くこと」「書くこと」「書くこと」のすべての内容について全国、三重県の平均正答率を上回っています。評価の観点別でも「知識・技能」「思考・判断・表現」共に全国、三重県の平均正答率を上回っています。また、問題形式別の平均正答率においても、「記述式」「短答式」「選択式」のすべての形式で全国、三重県の平均正答率を上回りました。



【数学】

本校の平均正答率は、全国、三重県を大きく上回りました。

学習指導要領の内容別にみると、「図形」や「数と式」「関数」「データの活用」のすべての内容について全国、三重県の平均正答率を上回っています。評価の観点別でも「知識・技能」「思考・判断・表現」共に全国、三重県の平均正答率を上回っています。また、問題形式別の平均正答率においても、「記述式」「短答式」「選択式」のすべての形式で全国、三重県の平均正答率を上回りました。

【理科】

出題されたそれぞれの問い別にみると、3つの大問すべてにおいて校内平均正答数が全国、三重県の平均正答数を上回っています。また、各設問の正誤パターンから学力を推定し、得点で表した「IRTスコア」に関しても、本校の平均 ITR スコアは全国、三重県の平均を上回りました。

一方で、「塩素の元素記号を記述する」問題の平均正答率はわずかに全国を下回りました。また、全体的に「記述式」問題の無解答率（いわゆる空欄の率）が三重県、全国と比べて高い傾向がありました。

2 生活質問紙からみる本校生徒(3年生)の傾向

生徒質問紙より (一部抜粋)

肯定的回答の割合 (%)

質問事項	本校	全国
朝食を毎日食べていますか	93.6	91.2
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	83.0	81.0
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	91.5	92.6
自分には、よいところがあると思いますか	82.9	86.2
将来の夢や目標を持っていますか	61.7	67.5
人が困っているときは、進んで助けていますか	87.2	90.9
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	97.9	95.9
人の役に立つ人間になりたいと思いますか	93.6	96.6
新聞を読んでいますか	8.5	5.7
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	68.1	75.3
授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか	66.0	74.8
学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	74.4	77.3



生徒質問紙の結果から、全国の回答平均と比べて本校の3年生は、「朝食を毎日食べている」「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」生徒や「いじめは、どんな理由があってもいけない」ことだと思う生徒が多いことが分かりました。また、「新聞を読んでいる」生徒の割合は全国平均を上回ってはいるものの、一けた台の結果でした。

この調査は、文部科学省が全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析するとともに、各学校においても自校の児童生徒の状況を把握し、指導の改善に役立てるためのものです。今回、本校の結果では、各教科の内容・領域ごとの正答率は、全国や三重県の平均を大きく上回る結果となりましたが、さらに結果の分析を進め、改善すべき点を明らかにして、授業改善等に活かしたいと考えています。

今後も学校、家庭が連携し、生徒のより良い成長を促したいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。